

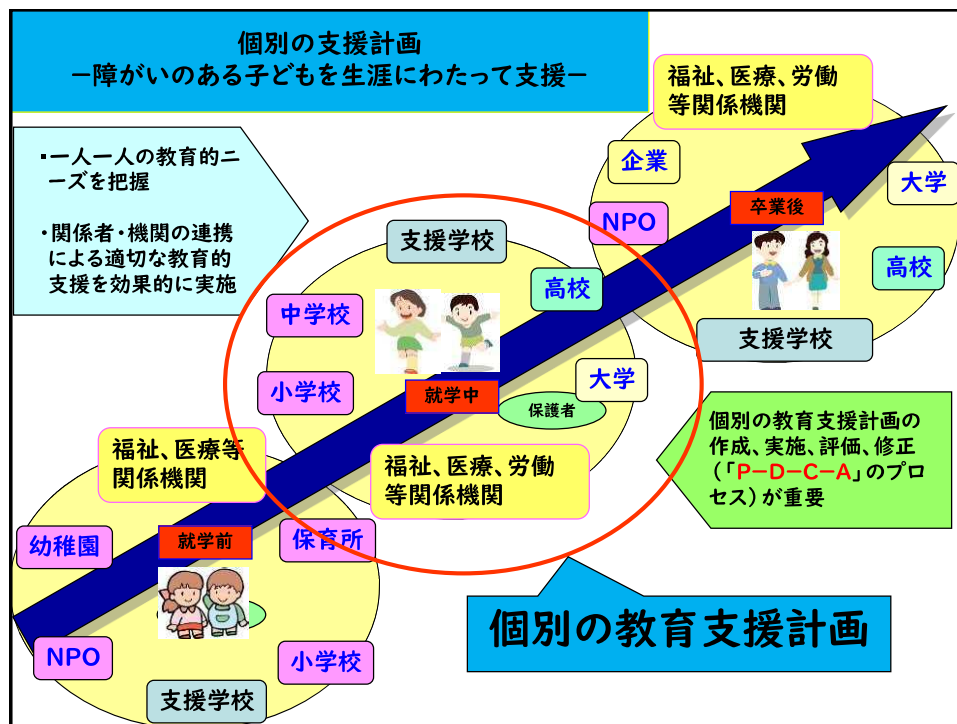
令和7年度大阪府障がい児等療育支援事業
全体研修

支援計画に繋がる 「意思決定支援」

梅花女子大学／大学院
伊丹昌一

個別の支援計画作成に向けて

- ・ 一人一人の子どもの生活マップを描くイメージ
- ・ 支援ネットワークのツールとして活用するために
- ・ 園・所・校内及び医療・福祉・労働等関係機関等における（支援者）ネットワークの構築（支援の継続性）
- ・ 「現在の生活の充実」と「将来の生活への希望」のために
- ・ **利用者本位の支援を念頭に**
- ・ 「個別の教育支援計画」と「個別の指導計画」が同じ方向性で連動していくこと
- ・ **PDCAサイクル**で支援を続ける



個別の支援計画作成

- ・ 個別の支援計画作成においては保護者の願いや本人の希望を記載する必要がある
- ・ そのためにも、子どものなりたい像やニーズを知ることは重要！
- ・ 「自己理解」「自己選択」「自己決定」の力を育てることが重要です

個別の支援計画の作成

- 保護者との話し合いによる支援の決定（願い）
- 本人の意思決定（思い）



- 個別の支援計画の作成支援
（個別の教育支援計画）

支援計画につながる意思決定支援

特性のある子の自己理解の実態

(Samson, 2011)

- 人より「もの」
内面、人間関係より所有物に関心を持つ
- 自分より他人のミスに関心を持つ
他人に厳しく、自分に甘い？
- 否定的な自己像、誇大妄想的自己像
「自分は何をやってもだめ」「自分はなんでもできる」
- 自己認識を拒否。偏った見方

客観的、肯定的な自己認識の困難さ
自己受容の低さ (Willoughby, 2019)



特性の理解が必要

自己理解の段階 小島(2016)

1. 身体的感覚からの自己・他者理解
自分と他人は違う存在を理解する
2. 現在の自己についての基本的な理解
年齢、学年、所属、家族関係など
3. 自分の良さについての理解
得意なこと、自慢できること、長所
4. 多面的な自己理解と時間軸の形成
昔の自分、今の自分、時間経過による変化
5. 自分らしさの理解
自己有能感、自分なりの人生観、自己実現

各発達段階の課題

乳幼児期	学童期	青年期	成人期
・養育者との信頼関係 ・基本的生活習慣 ・身辺自立 ・自己選択	・友達関係 ・担任との信頼関係 ・学力、学習 ・自己決定	・友人関係 ・進路学習 ・余暇活動 ・自己理解	・就労 ・自立生活 ・社会生活 ・自己実現

各発達段階にクリアする課題がある

自己理解：自分を「知る」こと

- ・目標が達成できた、約束が守れた！
 (賞賛・承認)
- ・これでいいのだ！ → **自己肯定感**
- ・「◎◎は苦手。でも○○は得意なんだ！」
- ・それでいいの？⇒それでいいのだ！

どんな小さなことでも**成功体験が自己理解**となり、
将来の生き方をきめる(キャリア教育)

自己選択

- 自分で選ぶ、きめる
クレヨンは何の色を使う？⇒黒！⇒黒はやめて
赤で塗りますか？**青**で塗りますか？
- 結果を受け入れる
選択肢と結果を前もって教えておくことが必要

自己選択支援:選択の機会を与え、選択肢と結果を示すこと
結果について経験していること、わかりやすく説明すること

自己決定

- 自分自身の生活や生き方について、自己の意思や願いに基づき、主体的に決定すること
- きめるために必要な方法を知り、目標達成と解決を自ら行えること
- 選択した結果について、自ら責任を担うこと

集団・イエ制度から個人主義の社会への転換
自己決定は令和の時代に必要不可欠

自己選択・自己決定の重要性

- ・ 昭和の教育観

大人の言う通りにしていればいい子

- ・ 令和の時代は自分で人生を決める

進路、仕事、結婚相手

- ・ きめ方、選び方、解決の仕方を一緒に考える

情報を集める、話し合う、意見を言う(子どもの自由でなく)

発達障がい児への自己認知 プログラムの開発と活動の実施

●目標

- ① 自分の特性(性格)や長短を知り、自己理解を深め、長所に自信を持ち、短所を補うための方略を知る(自分の個性に誇りを持つ)
- ② 社会性や状況判断の理解の発達を促す(自己の行動・感情のコントロールを考える)
- ③ 少人数のグループでの対人関係を通じて、自分に似た好みを持つ子、違う好みを持つ子などの存在を知り、互いに認め合うことの経験をする
- ④ 保護者との連携をはかり、子どもについての相互の情報を共有し、適切な支援を考える。

(全5回)

H23年度 独立行政法人福祉医療機構
社会福祉振興助成事業 はなしのぶ 参照

①なまえ	
②たんじょうび	
③わたしの良いところ	
④とくいなこと(とくぎ)	
⑤すきなあそび・しゅみ(夢中になっていること)	

①なまえ	
②たんじょうび	
③わたしの良いところ	
④とくいなこと(とくぎ)	
⑤すきなあそび・しゅみ(夢中になっていること)	

思春期・青年期の対応

- 心許せる友人、良好な友達関係(帰属集団)
趣味や価値観を同じくする友達との出会い、つきあい
- 自分自身のことを知る・理解する
できることを増やし、自分を客観視できるようになる
- 進路
自己理解を深め、自分にあった進路の選択
- 余暇活動
大人になっても続けられる趣味やスポーツなど

しつけのし過ぎはマイナス効果

- しつけや注意を必要以上に口うるさくすると、子どもにいわゆる「ダメ出し」を繰り返すこと
- 言葉がだんだん激しくなり、怒りをぶつけてしまうことも
- これでは子どもは委縮するばかり
- 委縮からのストレス開放で子どもの問題行動につながります

思春期のかかわり方

- 大人への反抗は間違った自己主張
口答え、暴言、無視、ルール違反等
- 何を訴えたいのかよく話を聴く
最後まで聴き、妥当な自己表現を教えましょう！
- 問題行動を正すのではなく正しい自己主張を教えること
- 注意は「～したらあかん！」→「○○しようや」

叱る

- 人を責めない、行為を責める
「出したものを片付けないことが、許せない」
- ルール違反であることを告げる
○「約束と違うよ」、×「だめじゃない、そんなんじゃ」
- 感情的にならず、冷静に
クールダウンの方法をきめて実行する
- 指摘はひとつに限定
×「だいたいあなたはね、いつも・・・」

罪を憎んで、子どもを憎まず

毅然とした態度

- きめられたルールを厳守し、絶対に譲らない
大人が子ども叱ることは親の権利であり当たり前のこと
- 一人の人間として尊重し、信頼する
私はあなたを必ず良くなると信じている
- 話し合うことの重要性を示し、約束する
困ったときはどんなことでも相談しなさい

強い意志、信頼する態度、話し合いの継続

具体的な会話を

- 具体的な約束を
×遅れないように ○8:30までに教室に入りなさい
- わかりやすい表現で
×最後まで頑張って拭きなさい ○5往復拭きなさい
- 相手の過激な表現に惑わされない
「死にたい」→それほど辛い、とても嫌なことがあった

事実に基づく、客観的な表現、
子どもの発言を翻訳する

事例

- 知的能力の高いASD（中1男子；FSIQ130）
- きっかけ：ちょっとした失敗を指摘され不登校
- その後：ゲームに没頭し親は振り回されてあきらめモード
（医師の助言は学校に行くな！）
- 対応：SCによる両親への対応（将来の見通し）
トークンシステムによる日常生活管理、毅然とした対応
できた成果をこまめに評価
- 結果とその後：トークンシステムを守り登校へ
得意な活動や教科で自信がつく
保護者の認識の変化

トークンを活用した登校支援

1000ポイント:ゲームソフト
500ポイント:ファーストフード店での食事
100ポイント:カード10パック
20ポイント:ゲーム1時間追加
10ポイント:テレビ2時間、ゲーム1時間

無理なく登校できると
普通の生活が保障される

約束
登校した:5ポイント
適応教室で1時間学習:1ポイント
(1時間ごとに1ポイント追加)
通常学級で30分学習:2ポイント
行事への参加:3ポイント

約束を具体的に

対話による「気づき」と「自覚」①

1. 対話

信頼できるカウンセラー

2. 気づきを促す(問題意識)

家にいるメリット・デメリット、登校のメリット

3. 生徒の自覚(目標)

部分登校ならできるかも

4. 実行の具体策(支援など)

居場所の確保、人に会わない工夫、学習支援など

対話による「気づき」と「自覚」②

5. 気づきを促す(変化)

無理なく登校できると普通の生活が保障される

6. 生徒の自覚(成長)

今までの生活を変えられるんだ!

主体的な学びによる「自己理解」と「自己肯定感の育成

「面接」と「自己申告書」

- ・ 私立高校の多くの学校が、入試で面接を行っています。
- ・ また公立高校でも事前に「自己申告書」を提出します。
- ・ 「中学校生活で何を頑張ってきたのか」
- ・ 「高校で、どんなことを学びたいのか」
- ・ 「自分の良いところは、どんなところなのか」
- ・ 自分の考えを、自分の言葉で伝えることが大切になります。

はなしのぶ2020.10中学生支援より

あなたの「自分自身のこと」を、どうやって伝えていくのか、
みんなで考えていこうと思います。
まずは「面接の基本」から！！

姿勢は？
ヒント：背筋と足の状態を確認しよう！！

()

答える時の声の大きさは？
ヒント：質問している面接官に対して、はっきりと聞こえるように、気持ちよく答えたいですね。

()

答える時の話す速度は？
ヒント：緊張すると、どうしても早口になってしまいますね・・・。

()

あなたの好きなこと（趣味）や楽しい時間に○をつけてね！！
これからやってみたいこと（興味）に△をつけてね！！

★自宅★（一人または家族とできること）★		
料理・お菓子作り	動物（ ）と触れ合う	好きなテレビ番組を観る
手芸、編み物など	音楽（ ）を聴く	パソコン、スマホ、タブレットを使う
歌を唄う	楽器（ ）を弾く	ゲーム機でゲームをする
作詞・作曲	電話で話す メールをする	将棋やオセロなどのゲームをする
文章を書く	物を作る（DIY など）	電車の模型や、プラモデル作りなど
読書をする	植物を育てる	コレクション（収集）がある
マンガや雑誌を読む	星を見る（天文観測）	自宅のお風呂などでゆっくりする
絵、イラストを描く	好きな物を買う（買い物）	スポーツ観戦
家族と話す	釣りをする	ダンスを踊る

★外出★		
家族で旅行に行く	遊園地に遊びに行く	ドラマのロケ地巡り
親戚などに会う	キャンプに参加する	チャレンジしたい習い事がある
友人と遊ぶ	写真を撮る	スポーツをする（ ）
自転車で出かける	映画や芝居を観る	体を動かす（屋外・散歩、ハイキングなど）
すきな乗り物に乗る	美術館・博物館などに行く	体を動かす（室内・ボウリングなど）

よく質問される重要度の高い（☆☆☆）内容を考えてみよう

・あなたが本校を志望した理由は何ですか。 （※行きたい高校が決まっていな人は記入しなくても大丈夫です。）
・高校で頑張りたいことを教えてください。
・あなたの将来の夢や進路について教えてください。

以前、勉強した内容を思い出そう！！

① 昔からの憧れ

② 興味のある学科・コース（勉強内容）がある

【自己申告書の書き方】・あなたは中学校等の生活で、どんな経験をし、何を学びましたか。
それを高等学校で、どのように生かしたいですか。
できるだけ具体的に記述してください。

例文	上段⇒中学校で経験したこと、学んだこと。 下段⇒高等学校で生かしたいこと。
学習面 （取得した資格も含む）	小学校にはなかった英語が新鮮で楽しく得意になった。英検3級を取得した。 ハーフやクォーターなど国際色が豊かで違った価値観を持っている新しい仲間に出会いたい。高校では更に深く英語を学び、一人で海外旅行ができるくらいの語学力を身につけたい。
クラスでの活動 （委員会や行事など）	3年生の前期に風紀委員長になり、週に1回の服装チェック、朝早くに登校して挨拶運動などをした。服装チェックではルール違反を注意する難しさを感じることが多かったけれど、先生から「君の勇気は、クラスみんなが分かっている」と言ってもらい、風紀委員長にチャレンジして良かったと思った。 注意をする役目は難しい。だけどルール違反を見て見ぬ振りをする高校生にはならないよう努力していきたい。
クラブ活動	3年間、科学部に所属した。1年生の時、先輩達が頑張りと、大阪府学生科学賞で特別賞を受賞した。先輩達の引退後は部長として頑張った。クラブでの実践では、成功と失敗が付きものだったが、その原因を考える大切さを学んだ。また仲間という特別な友達もできた。 高校入学後は〇〇部に入部したいと思っている。この高校の〇〇部への入部が、志望動機の一つだからだ。高校でも仲間と一緒に充実した時間を過ごしたいと思っている。
その他 （趣味や特技など）	僕は運動が苦手だが、塾の帰り道に友達に誘われて、毎回、自転車で2時間程ウロウロするようになった。その時に「お前にもできる運動があったな」と言ってもらい、自分にもできる運動について初めて考えた。それで簡単な山登りを始めた。できることからチャレンジして達成することを知った。 苦手なことは無理だと決めつけて、すぐにあきらめてしまう性格だったけれど、自分でできる方法を考えられるようになった。高校でも苦手なことがあっても自分の方法でチャレンジしていきたい。

自己理解の過程

- ・ 目標が達成できた、約束が守れた！



賞賛・承認、振り返り

- ・ 「自分是可以る」

自己肯定感・自己有能感

- ・ 「自分は〇〇は得意。でも◎◎は苦手」

自己理解(客観的な自己像)
将来の進路を考える元

評価で自信が付き、前向きな自己理解ができる

不幸な経験をしないために

- ・ 感情理解の乏しさ

視覚支援等で相手の感情が理解できるよう支援

- ・ 融通のきかなさ

善し悪し、常識で説得ではなく、選択肢と結果を示す

- ・ 不適切な自己評価

達成可能な具体目標と、できたことへの確かな評価

- ・ 対人スキルの乏しさ

計画的なSSTと日常生活への般化を

Cross(2019)

子どもを育てる保護者への支援

- 子どもの行動の正しい理解とほめ方叱り方へのサポート(ペアレントトレーニング)
- 日本式セルフエスティームの育て方「無理してほめなくてもいいことへの理解(認める)」
- 家族の会での仲間づくり(リーダーが必要)
- 最新の研究ではSSTや療育のみでは子どもの成長が見込めないことがわかっています

岡田・山下・岡田・森村・中村(2020発達障害を対象にした
通級指導教室におけるソーシャルスキルトレーニングの効果の検討、
Japanese journal of clinical psychology,20-3

ハッピーライフのために

- 禁止や叱責のみで子どもの行動を変えようとするのではなく、正しい行動をポジティブに教え、正當に評価されることで自立できる子にしましょう!
- そして、ポジティブになった自分を心からほめましょう!
- 大人も子どももポジティブになることでハッピーライフを手に入れましょう!!!

子どもたちの笑顔のために

- 大人の怒っている顔の向こうには子どもの笑顔はありません
- 子どもたちのつらい過去の経験は変えることはできませんが、今を幸せにすることで**未来を変える**ことは可能です！
- 高いハードルは飛び越えようとせず、くぐりましょう！
- 子どもに100点を求めるのではなく、100%の努力を求めましょう！